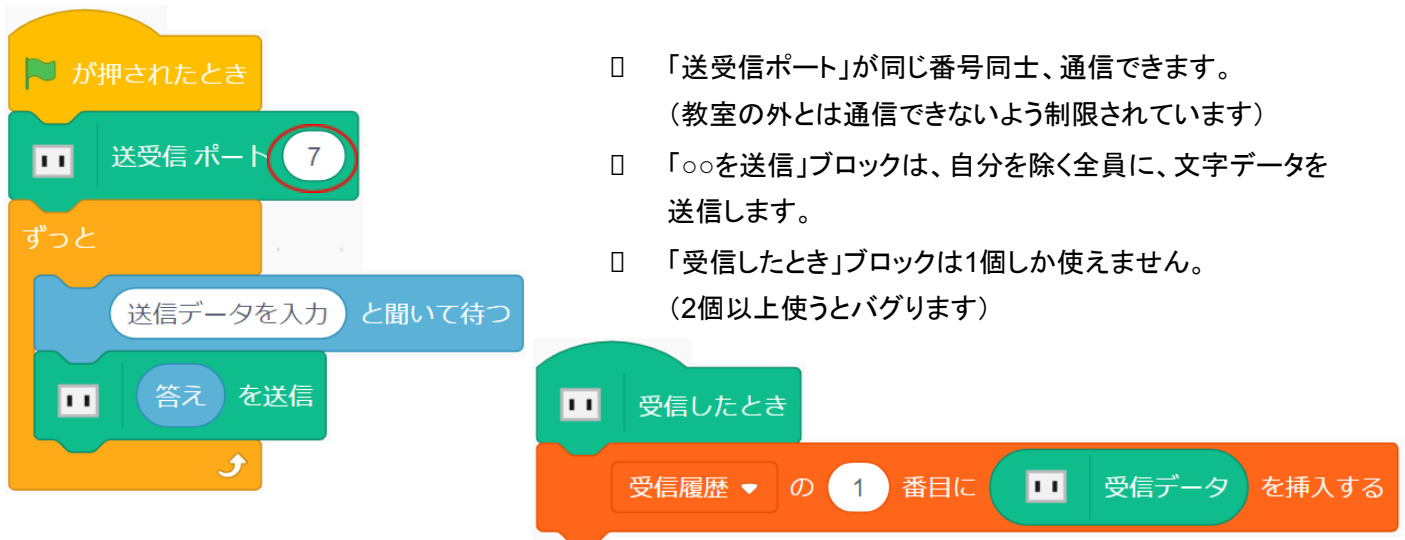


チャットと「自動しりとり」

- ・拡張機能「ネットワーク拡張」を追加する
- ・次に、「受信履歴」という名前の、新しいリストを作る



- ・チャットのプログラムを組み立てて、文字を送りあってみよう。



- 「送受信ポート」が同じ番号同士、通信できます。
(教室の外とは通信できないよう制限されています)
- 「○○を送信」ブロックは、自分を除く全員に、文字データを送信します。
- 「受信したとき」ブロックは1個しか使えません。
(2個以上使うとバグります)

- ・自動で「しりとり」をするように、チャットのプログラムを改良しよう

例: グループのメンバーが3人の場合

- ・最初の1人目が、キーボードから「しりとり」と入力して送信
- ・途中の2人目は、「しりとり」を受信したら、自動的にプログラムで「りんご」を送信
- ・最後の3人目は、「りんご」を受信したら、自動的にプログラムで「ごまあざらし」を送信
- ・最初の1人目は、「ごまあざらし」を受信したら、自動的にプログラムで「しりとり」を送信

- ・拡張機能「音声合成」を追加して、「しゃべる」ブロックも使ってみよう。

プログラムの動きが、音でわかるよ

- ・ヒント: 右下のプログラムは、「しりとり」を受信したら「りんご」を送信します

